

令和7年度第1回埼玉県西部地域医療構想調整会議 議事概要

1 日 時 令和7年9月3日（水） 19時00分～20時30分

2 場 所 Teams によるオンライン開催

3 出席者 委 員 別紙出席者名簿のとおり
23名中19名出席
傍 聴 者 3名

4 議 事

（1）第1回地域医療構想推進会議の主な意見について
資料1－1～1－2により保健医療政策課が説明。

（主な質疑等）

- ・ 特になし

（2）新たな地域医療構想について
資料2により保健医療政策課が説明。

（主な質疑等）

- ・ 特になし

（3）地域医療体制の推進に係る課題解決に向けた今年度の圏域における取組について

資料3－1～3－3により狭山保健所が説明。

（主な質疑等）

- ・ 特になし

（4）病床整備・転換の進捗状況について

資料4により医療整備課が説明。

（主な質疑等）

- ・ 特になし

資料4－1により埼玉石心会病院が説明。

資料4－2により旭ヶ丘病院が説明。

資料4－3により飯能靖和病院が説明。

資料4－4により所沢緑ヶ丘病院が説明。

資料4－5により並木病院が説明。

資料4－6により入間ハート病院が説明。

資料４－７により圏央所沢病院が説明。

資料４－８により明生リハビリテーション病院が説明。

資料４－９により原田病院が説明。

資料４－１０により小林病院が説明。

(主な質疑等)

- ・ 特になし

各病院の病床整備・転換の進捗状況について了承された。

(５) 医療機関対応方針の協議・検証について

資料５－１～５－２により保健医療政策課が説明。

(主な質疑等)

- ・ 特になし

(６) 令和５年度病床機能報告・定量基準分析について

資料６－１～６－５により保健医療政策課が説明。

(主な質疑等)

- ・ (赤津) 資料６－５を見ると、高度急性期病床は足りている、急性期病床は少し多い、回復期・慢性期病床は足りていないと読める。今後は地域医療構想に医療だけでなく介護・福祉の分野も入ってくると思う。医療療養型病院から業態転換して、介護医療院等の介護系にシフトチェンジすることが増えると推察するが、県の認識はいかがか。

→ (保健医療政策課) 新しい地域医療構想の中では、病床機能だけではなく、在宅医療や介護との連携も重要になっている。国もワーキンググループにて実際の進め方を検討していくと聞いているので、国の動向を注視しながら必要な情報を提供していきたいと考えている。

(７) 令和６年度外来機能報告の結果及び紹介受診重点医療機関について

資料７により保健医療政策課が説明。

(主な質疑等)

- ・ 特になし

(８) その他、圏域の実情に応じて必要な事項

- ・ 特になし

以上